

「はやぶさ」348号 2020年07月10日(金)

アフターコロナは激変の時代！ いかに生き抜くかの戦略は！！

###free1###

###name### 様

◆コロナ対策で日々奮闘しております、医療従事者や行政等の関係者に心よりの感謝を捧げます。
◆コロナショックが、私達の日常生活や経済活動はもちろんの事、政治や行政に甚大な影響を与
新しい価値体系と理念が求められていると観じています。100年に一度と云われてますが、明治
維新以来(150年前)の時代変革と感じていますが、どうでしょうか？
そうした時期に、私の知見と50年の経営支援の経験知から、どう考察すべきか、近未来はどう
生きたらいいのかの私見を述べます。 拙速であり狭い見識であることを承知の上で、
私なりの個人の生活態度や中小企業経営の指針を示します。
健康と経済活動の「安心・安全」が大いなるリスクであり、長引くことが想定されており、天変

◆医療従事者に余計な負荷を増やさないように、自己責任で生活規範を守りそれでも WinWin の
日常生活ができますように、気持ちを強くもって進化したいと念じています。

◆都知事選は、小池氏が再選されましたね。大きな課題が2つ(コロナ・オリンピック等)の
手腕を期待します。日本の将来がかかってますので・・・敗れたとはいえ、山本太郎氏の
考働は一石を投じていると観じます。声を出さないといけませんので・・・埼玉都民ですが・・・

第1・2・3・4・5・6回をお読みの方は「本文」よりお読みください。

~~~~~

理念経営 X SDGs 実戦の時

## アフターコロナは激変の時代！ いかに生き抜くかの戦略は！！

「はやぶさ」348号 2020年07月10日(金)

【第7回】 私達の生活姿勢の進化を促す、マルチ災害への備えは日常化する

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

・プロフィールは <http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

~~~~~

◆目次にかえて・・・9回シリーズで毎週金曜日にお届けいたします

＊「理念経営」については、バックナンバー

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_348.pdf から5回。

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_351.pdf

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_350.pdf

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_355.pdf

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_357.pdf

＊＊「SDGs」については、バックナンバー

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_381.pdf から 5 回。

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_383.pdf

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_384.pdf

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_385.pdf

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_386.pdf

を参照いただくと幸いです。

＊＊＊目次に代えて＊＊＊情勢により追加・変更がありますことをご理解ください。

① #342・・・200529・・・バックナンバー参照

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_398.pdf

コロナショックから学ぶべきことアフターコロナへの基本戦略・トータルの死者数に

② #343・・・200605・・・バックナンバー参照

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_399.pdf

問題解決能力を謙虚に評価して対応する・・・モノづくりの経験知から

③ #344・・・200612・・・バックナンバー参照

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_400.pdf

社会の変態脱皮が必要・・・政治・行政機関のコストパフォーマンスと改革の指針

④ #345・・・200619・・・バックナンバー参照

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_401.pdf

経済と国民のライフラインの守り方と施策【案】・拝金教からの脱出

⑤ #346・・・200626・・・バックナンバー参照

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_402.pdf

国際協調の課題と SDGs の取組み

⑥ #347・・・200703・・・バックナンバー参照

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_403.pdf

テクノロジーは革新的に進化する・既得権益集団との戦い

⑦ #348・・・200710・・・今回の掲載

私達の生活姿勢の進化を促す、マルチ災害への備えは日常化する

⑧ #349・・・200717・・・

持続可能な社会機構をいかにして構築するか？・SDGs の実戦

⑨ #350・・・200724・・・

宇宙船「地球号」の乗務員としての任務・・・客員ではなく・・・今後の展開のご案内

＊＊予告ですので変更することがありますので、悪しからずよろしくお願い致します。

~~~~~本文~~~~~

## 7、私達の生活姿勢の進化を促す、マルチ災害への備えは日常化する

### ①私達の生活姿勢の進化が求められている・・・使い捨て文化からの・・・

・今も、熊本・球磨川の水害がおきて、被害者がでていいる。更に九州北部に2度目の大雨が襲い被害の拡大と復興の遅れが懸念される。

3年前の福岡地方の水害の後始末が出来てない。昨年の千葉・房総の台風、長野・千曲川の水害、福島の水害の後片付けも終わってない。

「災害は忘れた頃にやってくる」は今までの諺で、忘れないうちに生々しいうちに来るのが、昨今の災害である。そこへコロナ禍であり、収束の時期は見通せていない。

・日本の歴史を見ても、何百年に一度は大災害が襲ってくるのである。日本列島に棲む以上は想定しておくことが生きる知恵であるのですが、大衆の多くは目の前の生活によってそこまでは考えてはいません。それは今の住宅建設の開発・営業姿勢でも、大衆のどこに住むかの選択でも、安全よりもコストで選択して、安全性の評価は厳密ではなく災害予備軍となるのである。国のレベルにおいても、住居政策をどのようにするかは今後の大きな課題なのです。スマートタウン構想や街づくり構想が試されてきましたが、今までの改善の域を出ませんし、普及することはありませんでした。その理由は単純です。収入（雇用・仕事）がないから生活できないのです。アフターコロナでは、テレワーク等の働き方のイノベーションで、無理なマイフォームへの願望は変革のスタートを切ったと観じています。

・ライフスタイルを、持続可能な江戸時代のように、循環型の消費生活と長屋の隣組の助け合い、そして、鎮守の森を大切に水神様の恵みに感謝して、自然を大事にする生活に戻りましょう。

### ②生かされていることへの感謝と貢献を常に念じる

・災害では、行政や消防や自衛隊の支援が不可欠ですが、インフラ（電気・治水・情報・教育・医療・交通網等）を守るのは国家レベルの企業に委ねるとしても、地元に着した日常生活は、自分達や仲間でするようする必要があると観じています。

多くの災害の中で、日常生活が生き生きとして回復するところの特徴は、自主的に前向きに取り組んでいる地域であり、その後の立直りが早いとも観じています。

・核家族化・マンション住まい等で自治会も機能してはいない中で、日頃の近所付き合いが、いかに大事であるかが強く観じます。地域の篤志家のボランティアが頑張っているのが実情で

あり、もっと組織的に救済活動が出来るようにしなければ救済力は上がりません。

テレワークにおいて、単身赴任の見直しや在宅作業のウエートが増すでしょうから、この機会に、地域の生活インフラの確認と自分で参画できることをやりましょう。

例えば、日頃の挨拶、ゴミ処理、自転車の放置、公園の整備と安全の確保、子供の通学の見守り等々できることから・・・

### ③免疫力を高める・究極の自己責任

・免疫力を高め維持するのは、かなりの自助努力がいることであるが、健康の基本中の基本で、あり自己責任であります。

①食物は、添加物、農薬、遺伝子組換え等が入った、肉・野菜等は避けて、コメ・麴を使った、味噌・醤油・豆腐・漬物等を毎日いただく。そして、よく噛んで食べる。唾液を混ぜるようにイロハ48文字の数だけ噛む。口に入れた食べ物がドロドロにスープ状になるまで・・・・アゴが強くなって二重の効果がありますし、永く続ければ健康間違いなしです。私もやっています。

②睡眠は、快食・快便と共に健康のバロメーターですね。

人生の三分の一は眠っているのです。この生理は神の計らいと云われています。

霊的世開を忘れないために、眠っている間に大事な人や守護・指導霊に会って教わったり、一緒に仕事（4510）したりするそうです。

よく眠るには、心配事の雑念をすべて去って、「**今日一日の苦労は、今日一日で終われり。**

**明日は明日の風が吹く**」と割り切って、そして今日一日に感謝して明日も全身全霊かけてベストを尽くすと祈って眠りにつきましょ。

・そうした念いは、ストレスをためることもありませんし、排除さえします。

### ④マルチ災害への備え・天変地異は益々増える・・・地域のコミュニティー・助け合い

①首都直下型地震・東北大地震の余震（原発の処理）・南海東海トラフ地震等は、30年以内に起きると想定されています。私が肉体を持っている時に起きるかは不明ですが、孫の世代にはほぼ起きると想定されます。ですから、そう遠い時代ではないのです。

・その地震に伴う津波は、特に都市（東京・大阪等）におけるゼロ地帯の対策は、未知数の課題なのです。更に避難をどのように実行するか、イメージトレーニングをしておく必要があります。

・倒壊と大火災にも備えが必要ですね

②台風・ゲリラ豪雨等による水害の、頻繁に起きています。今も、球磨川・九州で起きてますね・・・

③富士山の噴火のリスクも想定されています。宝永噴火の例に学んでおく必要があります。

④その環境でコロナが発生した場合の、避難方法や避難所の管理（区分する必要あり）も、  
現在あちらこちらで試みてますので、情報を共有してのマニュアル化と訓練が必要ですね・・・

#### ⑤想定外はあり得ない・・・0311の津波も過去の経験知を守ったところは助かった

・現場のリーダーの咄嗟（直感）の判断が、生死を分けたのが0311の経験でもあります。  
マニュアルや訓練も不可欠ですが、現場の状況をすべて想定することは不可能ですので、実際の現場では、そこを指揮しているリーダーの状況判断力が生死のカギを握ることがあるのです。  
その教育と訓練は日常生活や仕事の中で、繰り返し繰り返し身につくまでやることは有用ですが、そうした訓練の場が今の制度ではその機会がありませんので、塾等でもよいですから取組まないといけないと観じております。

・コロナショックから学んだ経験知を知見にして次世代に受継ぐのが大きな課題であるので、  
国レベルでプロジェクト（PJT）を作り、現場で実用できる体制を構築することを期待しております。

\*リーダーの「器」とは

①先見性 ②予知能力 ③決断力 ④愛念 ですが、詳論は別の機会に譲ります。  
そのリーダーの強化が災害を最小化し、回復を早めることになるのです。  
つまり人材育成の教育事業なのです。

\*こうして観ると、災害が次々と起きると想定され、不安の連続であります。「希望と勇気」をもってたくましく生きてまいりましょう！！

~~~~~  
次回は #349号 200717

第8回 持続可能な社会機構をいかにして構築するか？・SDGsの実戦
をお送りいたします。

最後までお読みいただいて感謝いたします。本当にありがとうございます。
では、また次号で元気でお会いしましょう！

*****第6回ビジネスモデル発表交流会のご報告*****バックナンバーは
、https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_382.pdfをご覧ください

*****第7回「ビジネスモデル発表交流会の予告」を近々ご案内いたします*****
予定日：2020年10月23日・PM 壬子：北とぴあ

**お問い合わせ・質問は メールアドレス： hos_biz@hosbiz.net

発行責任者：平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://1lejend.com/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a_mail=###mail###